

(プレスリリース資料)

特別展示

「チョウから見た、いま里山で起きている危機的状況」

～県立三木山森林公園などの調査結果も踏まえ～

展示期間：2026年3月7日（土）～3月31日（火）

会場：兵庫県立三木山森林公園 森の文化館展示コーナー
(三木市福井字三木山 2465-1) 電話：0794-83-6100

チョウは、「気候変動の状況」や「地域の自然環境」を知る手がかりとなる昆虫です。環境省と日本自然保護協会が行った、里山の全国調査で動植物の状況を定点観測した結果、生きものが急激に減少していることが分かりました。特に、チョウ類の減少が目立っています。

本展示は、2024年10月に公開された全国調査の結果と、三木山森林公園を含む兵庫県内2カ所の調査結果から、その状況を知り、里山の生きものを守る必要性を考える機会となると思います。

また、チョウのひみつや、おもしろさを学習できるパネル展示も行います。

この機会に、チョウに興味・関心をもち、地域の自然環境保全に対する理解を進めていただければと思います。

○展示内容

- ・「モニタリングサイト1000里地調査」の概要
- ・調査を通して分かったこと（里地における生き物の減少、気候変動の影響）
- ・里山里山生態系の18年間の変化 特に身近なチョウ類の33%の種の記録個体数が急速に減少
- ・減少しているチョウ類の例（オオムラサキ、ミヤマカラスアゲハなど）
- ・県内の調査地の状況（県立三木山森林公園、神戸市西区神戸学園都市高塚山）
- ・日本チョウ類保全協会作成パネル（自然環境の指標チョウ、里山の環境変化とチョウ温暖化とチョウ、絶滅に瀕するチョウ など）
- ・神戸・六甲山周辺で減少傾向のチョウ及び増加傾向のチョウを標本箱に整理し展示。
- ・みんな知っとう？チョウのあれこれ
成虫、幼虫、さなぎの体パネル
チョウものしりクイズなど



国蝶オオムラサキの増減率は
-10.4%/年（画：わさび）

主催：兵庫県立三木山森林公園 三木山サポーター「チョウの森クラブ」

展示協力：公益財団法人 日本自然保護協会

地域版編集：橋本敏明（日本自然保護協会 自然観察指導員、兵庫県地球温暖化防止活動推進員）

地域版協力：石川喜朗（兵庫県自然保護指導員、兵庫県地球温暖化防止活動推進員）

展示内容の問合せ先：橋本敏明（日本自然保護協会自然観察指導員、環境省環境カウンセラー）

電話：090-5054-0906 mail: hashi@hi-net.zaq.ne.jp